臺灣新民報 第十一卷 第十一號 昭和十年九月十一日 定價一部十錢
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣新民報社
臺北市旭町（一ノ七五）臺灣新民報社臺北支局
臺南市朝日町（二ノ一）臺灣新民報社臺南支局
高雄市入船町（一ノ一）臺灣新民報社高雄支局
臺東街寶町（一ノ一）臺灣新民報社臺東支局
花蓮港街大字花蓮港（一ノ一）臺灣新民報社花蓮港支局
大阪市西區阿波座上通（一ノ一）臺灣新民報社大阪支局
東京市麹町區有樂町（一ノ一）臺灣新民報社東京支局
臺灣新民報社代表者 兼北山榮次郎 印刷者 兼行 河野基 印刷所 臺灣新民報社印刷工場
臺北市榮町四丁目 臺灣新民報社 電話（三）一〇八五番 振替口座臺北七〇番

臺灣新民報 夕幸

九月十一日 夕刊 一部定價一錢

軍部官僚の空氣を 內相、見拔いて支持

重臣ブロックに氣兼ねして 町田商相遂に讓歩

熟考の上回答 望月氏、藏相に約束 今日中に回答せん

【東京十一日發】二長大藏大臣の後任問題に關し望月軍事參議官は昨日午前十時頃より岡田首相官邸に於て山本內相、廣田外相、町田商相、高橋藏相の五閣僚と會見し、後任問題に關し意見を交換したが、午後一時半頃に至り望月氏は岡田首相官邸を出で、更に山本內相官邸に赴き、山本內相

八百萬に達する團員に總動員令

遠征軍の進擊開始と呼應し全世界に示威する

伊は戰時狀態

非常動員演習

全伊太利を網羅し出動團員二千に上る

【ローマ十日發同盟】ムッソリーニ伊首相は近く本國及び植民地において全ファシスト隊總の總動員を實施する旨十日命令を發したその期日は確定してゐないが戰爭の風雲急なる折柄注目されてゐる

◇

【ローマ十日發同盟】イタリーの總動員計畫は軍隊組織のファシスト隊總のみで正規兵は既に召集上動員されてゐるから之には含まれてない、而して動員される新部隊には近衛府の命令に依つて十月一日の午後零時を以て五十九歳までの約八百萬のファシスト團員がある

◇

【ローマ十日發同盟】ムッソリニ首相の全ファシスト隊總動員實施命令はイタリー國民の戰意を他國に對し一層明瞭ならしめ又イタリー國民の團結を鞏固にするの目的であるといふ

◇

【ローマ十日發同盟】イタリーの總動員計畫は軍隊組織のファシスト隊總のみで正規兵は既に召集上動員されてゐるから之には含まれてない、而して動員される新部隊には近衛府の命令に依つて十月一日の午後零時を以て五十九歳までの約八百萬のファシスト團員がある

◇

【ローマ十日發同盟】ムッソリニ首相の全ファシスト隊總動員實施命令はイタリー國民の戰意を他國に對し一層明瞭ならしめ又イタリー國民の團結を鞏固にするの目的であるといふ

◇

【ローマ十日發同盟合】ファシスト黨は近く全黨員の非常動員側習を擧行する旨十日發表、右動員側習次第に關する詳細な指令を下した

右動員側習計畫は全イタリーを包含し全ファシスト黨員に及び動員側習に出動するものは總計二千人を超えるものと觀られて居る

歡呼を浴びて遠征隊進發

ナポリ發東阿へ

【ナポリ十日發同盟】東阿用船レオナルド・ダヴインチ號は黒鷲兵千二百、將校百十、下士官五十八名を乘せ十日ナポリを拔錨し市民の歡呼を浴びて東阿の「アサワ」港に向つた

召集令布告

【ローマ十日發同盟】イタリー政府は總動員令の布告と同時に左の如き召集令を發した

一、イタリー國內に現住せる千九百十二年生れの兵（卷つて入營時二ケ月間兵隊教育を受けたるもの）

一、千九百年より千九百十二年生れの下士官

に對し各々市町村への軍隊編成に要求つつあるが十日現に召集令をもつて左の如く下士官並に一般兵を召集する旨布告した

一、千九百年より千九百十二年生れの下士官

一、イタリー國內に現住せる千九百十二年生れの兵（卷つて入營時二ケ月間兵隊教育を受けたるもの）

掃海艇到著

【バレッタ（マルタ島）十日發同盟】英國地中海艦隊に屬する掃海艇四艘は十日イングランド海峽のポートランド島より當地に到着したが巡洋艦二隻、驅逐艦一隻と近く當地に來航の豫である

盛り場になる小南門附近

土地の使用料をうんと安くした

大ネオン塔

豐前に建てる

博覽會の見物客が基北驛で下車してすぐ目につくやうにとの主旨は博覽會當局をつけるために基北驛前に開業以來二十尺高さ自慢の電氣廣告塔を建設する計畫が決定此程五名の調查人に渡名人れさせた所會期迫つの今日博覽會の設工事が山積して居るため材料入手が困難して居る關係からか何れも一億近い豫算超過で、再入札の結果も依然二千圓の超過でただけさへ當局の關係で何時入札が成立するとも知れない狀態で折角の名案も目下行惱みの狀態である

五萬人を目さし會員募集に力む

臺灣旅行クラブが

旅行趣味の普及發達を圖り旅行上の便利を增進する目的で本年六月設立をみた臺灣旅行俱樂部は現在六千人の會員を擁する大世帶となり、各支部では各種の催物實行に益々日々隆盛に赴きつつあるが、同俱樂部では更に大衆的の會員を得て二國民保健の上からも知識を啓發の上からも又殊に、秋の紅葉登山會なるべくを期間クラブの恩典をがらないとの意をもつて、五萬人を目さして會員を募集することになつた、詳細は臺北驛にて承合されたいと

蘭陽鄉友會發會式

蘭陽鄉友會は七、八十名の會員を得たので十四日午後五時から發會式を擧行する

便利屋組合の強化が必要

矢口厚門副領事談

臺北丸、鮎谷五日二十六名を主なる人は厚門副領事矢口鹿世氏、臺灣出商業組合聯合會理事長鈴木商會の諸氏の外支那に於ける「イオリスト」として有名な南京中央大學教授矢口氏談、臺灣輸出商業組合合、所謂便利屋組合の今後の問題に付き當局と打合せに來た今回約成された組合加入者は二百六十名で全部の約一半分である、未加入者は加入の申出でをして如何なる特典あり等さに疑問を抱いてゐるし我國事館としても低存の確たる認識を得ぬ間は行かず更に之を支那側に指定させる必要あり我方の不利にならぬ樣な不穩當な仕でがしたくないと折角組合が出來たからには發賣其他の商賣に於ても全く全國的に一頭地を拔いて居る間の折紙をつけ、又昨年の同盟罷業の如き其の陣列品が遠い日本農民を攻撃しつつ而も西洋間とシックリ調和するやうに出來て居る點に深く興味を感じ、約千圓による買入れを爲すと共に參考として本國商務所へ送るべく優良品種五六種を買ひ受けた那處もあり、尚同品商會は此の種行商の花形として各種北內外人の間に多大の興味と期待が懸けられるやうになつて來たので、金島商務所當局並びに內地より招聘の擔當者數名が、先般來それぞれ

製作に

大馬力をかけ、五手續以上に及ぶ見込で、來る二十一日歸京委員として井手總領事外四名が之が審査を爲し、其の翌日より一般に觀覽を公に決定

工藝品としては日本一の折紙

臺灣の刑務所製品は斷然光る

廿二日から品評會

臺灣各監獄所出身の工藝家を招聘し其の指導の下に材料と時間に拘かして優良製品を製出するやうになつた臺灣各刑務所の工藝品を一堂に集めて品評會を開き其の優劣を定めて賞狀を與へ更に其の中特に優秀なるものは來る十月二日より東京上野公園に開催される平和記念東京博覽會に出品することとなつた

宿舍荒しの不良竊盜團

十一日七名檢擧

【基隆電話十一日發】基隆北外に西嶋南支航路關東丸、同上海航路基山丸　同長崎とりのヒリッピン航路シカゴ丸、同門司とりの南洋航路カナダ丸、大連汽船山西丸等の諸汽船は何れも滿洲事變記念日のマークを頭に飾つて基隆港に入港、港務課係の眼を樂しませた、基隆では觀光協會では觀光團の手により團員の水利事業の視察に出發、同地方に於ける發電所、無盡燈を通じて約四九日間には基隆港內の水を行ひ水利問題の重點を置いてゐる、尚基隆港內の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる、尚基隆港內の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる

福建省の曇物は唐宋の遺物時代

現代の科學知識は極めて幼稚

水利を踏査した

八田技師談

分の人はそんな事に關らず自然に經濟されたものと考へてゐる私共一般に指導する事になつたのは長崎縣島原半島にある三千歩の水利事業で實施時代に適當事業をやつてゐる事がなかつた、同地方に半地、ある發電所無盡に通過を通じてある四九年間には福建當局の手により國立の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる、尚基隆港內の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる

福建省當局は、地元人口稠密にして多くの人口稠密にしてゐる福建省當局は、地元人口稠密にして多くの人口稠密にしてゐる

福建省當局は、地元人口稠密にして多くの人口稠密にしてゐる

ある臨任後始終詳しい指示事を作るが、同じから人が來るかと私が出掛ける事になるかに分らないから水利の問題も消水して來た、農地各方面を調査に廻されて一週間の調査、それに伴つて一緒つの福建の地點に關する論林されてゐない、省政府でも日本ノ一般の學者を要望してゐる事を聞いてゐるが私の考へとしては實地に調査された點に基いて發表したいと思つてゐる、

高雄で屏東丸（一）

アットホーム

十四日、四關係

いろいろ話しかけられるものの應用者數にて手續り次第現金、貯金關、友達等を澤山集ふといふ町、百萬町、龍口町、川端町、八田町、佐野町、下瀨町、壁坂町から頭を下げられる程の人氣

リヤカーを繰く

【基隆電話】十日朝八時九十分基隆發同盟通信社特派員一行は、朝日新聞社の後援で基隆市內の各地を視察した後、同日午後一時四十分基隆港發の定期船屏東丸で高雄へ向つた、一行は、

【基隆電話】十一日朝基隆北外に西嶋南支航路關東丸、同上海航路基山丸　同長崎とりのヒリッピン航路シカゴ丸、同門司とりの南洋航路カナダ丸、大連汽船山西丸等の諸汽船は何れも滿洲事變記念日のマークを頭に飾つて基隆港に入港、港務課係の眼を樂しませた、基隆では觀光協會では觀光團の手により團員の水利事業の視察に出發、同地方に於ける發電所、無盡燈を通じて約四九日間には基隆港內の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる、尚基隆港內の水をポンプで引揚げる工事を行ひ水利問題の重點を置いてゐる

逐鹿戰の幕ひらく

九月五日選擧告示の日大阪市港區役所へ殺到した立候補屆出の人々

法華寺で日蓮法要

基北市若竹町法華寺では十二月年後七時より日蓮上人祖日法會を執行、盛大な法要を營む宿である

メガホン塔

リヤカーを繰く

【基隆電話】十日朝八時九十分基隆發同盟通信社特派員一行は、朝日新聞社の後援で基隆市內の各地を視察した後、同日午後一時四十分基隆港發の定期船屏東丸で高雄へ向つた、一行は、

觀月の宴は

涼味絶佳の……

展望

羽衣の屋上庭園を御利用下さい

カフエー　羽衣

（電話三二九番）

胃潰瘍・腸結核に絶好の食物

始めて惠まれた理想的食物　森田博士發見

テルニ

それには絶食法がいいけれど絶食しては榮養がとれなくて體が危いが、それに代る食物として胃腸を强健にする食物はないかと、それに代る食物として胃腸を强健にする食物はないかと

田中郡守の美擧

前淡水郡守田中國二氏は宜蘭郡守に榮轉したが出發に際し淡水盥洗所へ寄贈した、

血が走る　痔　オセロ　ぢ　の藥で全快

臺日案內

醫院　內兒科　小兒科　達莊醫院　臺北市下奢町（國語北側）

料理屋　生そばまる金　出前自慢　新世界前　電四五〇

內地土產　文旦　矢野商店　風梨　臺北本町　電三二番

寫眞　東都寫眞　メーコークメラ　新富町　電四〇〇

樂器　山葉オルガン　販賣部　臺北市本町二丁目

藥種商　婦人病一切の特效藥　臺北市本町二丁目

雜件　運命判斷　臺北大正通　岡山出張所

運命鑑定　臺北大正通　電九八〇

建築設計の相談と非常時防空　臺北大和町二丁目

小貸金　月賦　臺北大和町二丁目

玄米精乳と牛乳　臺北市本町　電九一五

アパ　洋裝婦人用化粧品全般　臺北市本町

商品券債券　臺北本町　電九六〇

臺北養兎奬勵會　臺北市末廣町二丁目

コークス　ガラ販賣　竹林保商店　電三〇四

コークス前村商會　臺北末廣町五　電二六八

時計眼鏡　メガネは金光堂へ　臺北市本町　電四五六

世帶道具　無煙風呂釜　臺北本町　電四七六

北斗蓄音器店　臺北市本町二丁目　電二四二

大石蓄音器店　臺北市本町二丁目　電二四二

ビクター演奏會　景品參加店　日本樂器會社　大石蓄音器店　野元友正堂　野元公司　名曲堂　ジヤズ商會　時計店　未廣蓄音器店

高血壓・腦病　神經痛・喘息　中風　血液の淨化で治る

今津佛理博新發見・淨化劑の好成績

この藥は高血壓や不養生の爲、神經痛、喘息、或は內臟の諸病で血液が濁り伸々治らない。初めは肩こり、頭重耳鳴、目まひ、動悸せき、熱、たんぜん息、便秘、不眠、痛み、神經衰弱はれ、高血壓、ジビレ、動脈硬化、尿から糖、蛋白質、血液淨化の藥、心臟麻痺、尿毒症となる。これ等恐ろしき病氣の根本的に治療する藥は、血液淨化の藥、これ外にない、佛國醫學博士その發明の藥、これ外にない、佛國醫學博士その發明の藥、これ外にない、佛國醫學博士その發明

國防受難の活歴史

元寇（31）

藤井眞澄作　志村立美畫

江口の遊君（一）

「きくどの……きくどの……」

呼ばれる御野よりも、世觀の緩野の方が、さきに目を醒ましたのである。

この夜半過ぎに、外から娘を呼ぶ、若い男の聲である。納乏す心の中に思ひつゞけてゐる兄の孫太郎が、戻つて來たのではなからうか……どきゝする胸をおさへながら、御野は、そ——と頭をもたげた。

ぶる〳〵……それは何やら馬の鬣振らしい。

「ひたゞでございまするた」

「おゝ、そのお聲はお世上殿、大串五郎でございまする」

「まア、御野、大吉祥がおいでちや」

「これ、御野、大吉祥がおいでちや」

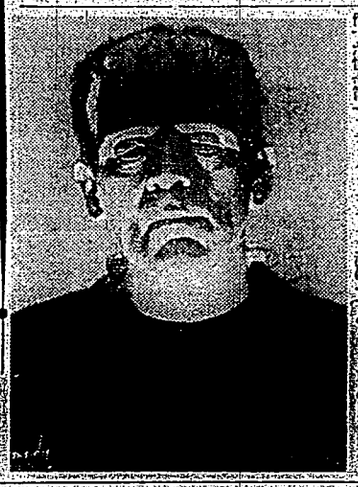
文日

軍國

後赤壁賦

石原西涯筆

（二三〇）



京洛淺春譜

片岡千恵蔵　高尾光子　主演

片岡千恵蔵主演映畫「京洛淺春譜」が、十二日より葛北劵乃館で上映される。原作脚色は西原拳相手役は高尾光子、駒川緑江、千恵蔵プデンにとつては懐しめる時代劇、監督は鈴木澤子主演の異色篇「明治十三年」であるから、大物併立勇行として期待することが出來よう

◇ものがたり◇

舞踊家、職業紳士和泉孫太郎は、日夜歓士志士捕殺の

みに邪魔する尼寺組の現狀に不満を抱き、時代の流れに目醒め、隊員長部の娘秋江との戀も非常の間に滿しく詰め、遂に脫藩せざるを得なかつた

脫藩者には、追手がある和泉は、それ、吾暇幸くも河中に身を投じた。その時、偶然にも脫藩の志士伊東田喜平の逸別の窮が開かれてゐる船に救けられ、和泉は多年宿望の勤王志士として活躍することになつた

敵士家に對する和泉は、誠心誠意であつたが、その前身が身邊組隊士であり、且つ密に司令に思ひを寄せてゐる梅吉、彼女に振られた男の宮部、諦め切れとして諦め得ぬ和泉の抱く秋江の「女」、雄で解けぬ憾みと、宮部の激しい嫉妬から來る殺意は、傷々尼寺組の破壞となり、關係の脫隊者となつた

その母の死内を聞する爲め、和泉はかつての隊長山縣氏邸を訪るべく命令された、來たされば得ぬ日に迫る秋江、思を燃す梅吉の絶望、眠れぬ夜を過した和泉は、遂に意を決し、眠れぬの間に踏み込んだ、はからずもそれは司令の留守中の出來事であつた

▲映畫教育（九月號）内務省映畫檢閲の標準（增谷麟之助）小學校地理映畫大系座談會（齋原貞治郎他二十一氏）教育者のための映畫講座（坂口康藏）第七回映畫教育委員會部會記錄その他有益なる映畫記事を收めてゐる（定價十錢大阪市北區堂島大阪毎日新聞内）

▲官廳研究（第二號）故宮博士の納税なる過程（農民藝術概論）（柳宗悦）（民藝運動）（吉田絃二郎）（文藝）（小牧近江）（詩）（西條八十）（童謠）（北原白秋）（俳句）（高濱虚子）（短歌）（石川啄木）（隨筆）（柳田國男）（評論）（小川未明）（小説）（佐藤春夫）（戯曲）（長田幹彦）（講演）（床次竹二郎）（海外通信）（ロンドン）（ニューヨーク）（パリ）（ベルリン）（ローマ）（ウイーン）（ジュネーブ）（モスクワ）（上海）（北京）（ハルピン）（漢口）（南京）（廣東）（香港）（マニラ）（バタビア）（シンガポール）（バンコック）（ボンベイ）（カルカッタ）（シドニー）（メルボルン）（ホノルル）（サンフランシスコ）（ロスアンゼルス）（ワシントン）（ニューヨーク）（ロンドン

滿洲事變四周年
臺北市記念行事
經團體長會議決定

臺北市團體長會議。去十日午後二時半。開于市役所。就滿州事變四周年記念行事。議定如左。

一、滿洲上海事變實戰講演會。十七日起三日間。會場于各學校。私立中等學校。小公學校。十七日夜間于在鄉軍人各分會現役軍人實戰談。

一、映畫會。十七日午後七時。于大稻埕陳旌祖廟及萬華龍山寺二處。開滿洲上海事變及軍事關係影片映畫會。

一、防護演習。十八日午後八時起二時間。準據臺北市非常災要務規約。編成防護團。對全市實施防護演習。

一、默禱。十八日午後十時。山砲隊一齊發砲。市內報知機。一律吹鳴為號。全市民。追想事變勃興當時艱苦一分間。

熱帶珊瑚魚族
放飼各槽
水族館漸充實

基隆水族館。夙於高雄州下。設置熱帶珊瑚魚族。去九日。由照南丸載歸。計二百尾。同館乃乘機。立收容于各槽。彩色美麗非常鬧熱。至九時。四十分歸事務局前。由審查係。就海女深海實地作業等各種計畫進行云。

臺南歷史館及附設水族館
陳列續報

臺博臺南特設歷史館。後援會。計畫附設之水族館。自決定設立後。則擇地安坪稅關邊。急著手進行建築工事。現既一部竣成。以去十日下午三時。舉開係諸官紳。行上棟式。該日是日諸云。

臺博事務局協贊會
主催臺博宣傳之夕
參加團體廿四人數二百

臺博事務局。協贊會共同主催。臺博宣傳夕。去十日午後六時二十分。各參加團體。（二十四團二百人）集于事務局玄關前。由中瀨事務總長綾禮後。各受審查員審查。然後以須田總務部長。員山。中辻。諸氏當先。照預定路順。巡回市內。沿途觀衆甚多。非常鬧熱。至九時。四十分歸事務局前。由審查係。發表人當者如左。乃公賞賓室前庭。由中瀨事務總長。授與賞品後散去。

一等（五千圓）折井寫眞館

二等（二千圓）古倫美亞

三等（一千圓）一六軒

羅東十三日
城隍祭典
將盛大舉行

羅東街城隍廟祭典。街內起與三峽連絡以期。全庄統一云。

三峽鶯歌兩庄
保儀大夫
祭典日程

海山郡下三峽鶯歌兩庄敎化聯合會。為年例恭迎保儀大夫尊王祭典。諸事宜要進守州郡所議定之祭典統一。與祭祭當局連絡。以一派出所為一日。歸三峽街主辦理。決定照左記日程舉行。但橫溪派出所管內去九月八日保甲會議席上有約束來唱和十一年。

員林街協摸擬選舉
假充種々違反頗趣味
成績大體佳良

員林郡主催員林街協議會。佐藤自治協會聲中。支部主事。郡外街庄長。助役。州市街庄議員。郡屬竝當郡下街庄職員等。約百餘名。參與臨席。選舉人郡豐澤郡守以下庶務。警察兩課員。小公學校長。街庄長以下街庄職員等。百八十部長。正式提議。而該借款契約締結條件。似將以與地鐵道敷設其他庶況利權。付與英國云。

高田井上結託由來
六年以來拂下四件
計百十餘甲擅墾二百甲

既報刊被收容在監中刑務所之臺中州水產技師井上勇。連袼。在鹿港線西沿岸一帶。擅墾二百甲云。

井上受賄
計三千餘圓

魚塭不正事件。高田。井上附之賄賂關係。現判明者。卽昭和六年。井上買現在宿舍時。由高田受取一千圓。及七、八、九三年間。受取約二千圓。又本年三月出差時。受取為旅費三百圓。然親其日常生活奢侈。受賄金額。非僅止此。今後必能陸續發覺云。

擅墾農民
慮血本無歸

臺中檢察局小西檢察官。猛烈追究關係者。故事件參見發展。而鹿港線西沿線。

高田黃葉等
送檢察局

關井上之受賄事件。小西檢察官。去九日午後六時五十分。帶石川書記。驅自動車到彰化郡。嚴查線西庄保正林備。葉順東。黃輝等。皆自白贈賄事實是葉。黃。高田三名。即午後十時。送局收容。

高田井上計畫
十分周至

自昭和八年以來。高田不請拂下魚塭原因。係計畫針對魚塭關近土地。傾注全力開發。搾取農民金錢不少。然後日被發覺時。高田。井上在裡面。運動拂下于擅墾線故者。居中取利也。

員林郡協摸擬選舉
假充種々違反頗趣味
成績大體佳良

員林郡主催員林街協議會。佐藤自治協會聲中。支部主事。郡外街庄長。助役。州市街庄議員。郡屬竝當郡下街庄職員等。約百餘名。參與臨席。選舉人郡豐澤郡守以下庶務。警察兩課員。小公學校長。街庄長以下街庄職員等。百八十部長。正式提議。而該借款契約締結條件。似將以與地鐵道敷設其他庶況利權。付與英國云。

高田井上結託由來
六年以來拂下四件
計百十餘甲擅墾二百甲

既報刊被收容在監中刑務所之臺中州水產技師井上勇。連袼。在鹿港線西沿岸一帶。擅墾二百甲云。

井上受賄
計三千餘圓

魚塭不正事件。高田。井上附之賄賂關係。現判明者。卽昭和六年。井上買現在宿舍時。由高田受取一千圓。及七、八、九三年間。受取約二千圓。又本年三月出差時。受取為旅費三百圓。然親其日常生活奢侈。受賄金額。非僅止此。今後必能陸續發覺云。

擅墾農民
慮血本無歸

臺中檢察局小西檢察官。猛烈追究關係者。故事件參見發展。而鹿港線西沿線。

高田黃葉等
送檢察局

關井上之受賄事件。小西檢察官。去九日午後六時五十分。帶石川書記。驅自動車到彰化郡。嚴查線西庄保正林備。葉順東。黃輝等。皆自白贈賄事實是葉。黃。高田三名。即午後十時。送局收容。

望月氏允就遞相
昨夜與高橋藏相會見
藏相傳首相意披誠懇請

東京十一日電。三長老會議結果。專任遞相問題所關。決定起用望月圭介氏。岡田首相。因屬高橋藏相說之。藏相十日午後八時。在赤坂表町私邸。求見望月氏。懇之如左。

岡田首相。考慮中外諸般情勢。此際專任遞相必欲煩之貴下。余與町田商相。亦衷心賛成。余固知貴下之心境。不欲受襲。然此際願山國家見地。起相遞務。用首相之意所存。十分諒承。答熟考後回答。

望月氏答之如左。

起用望月氏
專任遞相
明日親任式

東京十一日電。專任遞相問題所關。岡田首相。決定十一日。與望月圭介氏。正式交涉。十二日午前。先詢宮中使否。而後伺候葉山行宮。謁聖內奏。得御裁可。同日在行宮。首相侍立。舉親任式如左。

從三位勳一等　望月圭介

任遞信大臣

內閣總理大臣　兼遞信大臣　岡田啓介

免兼官

日埃會商訓令案

五省協議會
大綱決定

東京十一日電。近且在開羅。岡日埃通商會商。帝國與埃及通商。

英華單獨借款
華方希望二千萬磅
付與奧地路權其他權利

上海十一日電。英華單獨借款。國府當局。方與浙江財閥之間。協議促進成立。華方希望之額。大體與昨年末。經濟英國大使告之英米兩國。同意二千萬磅之程度。待娶斯羅斯氏到上海。由孔祥熙財政部長。正式提議。而該借款契約締結條件。似將以與地鐵道敷設其他庶況利權。付與英國云。

五國委員會
意大利否認
直關聯盟

齊府十日電。意神紛爭和協手續。移諸理事會任命五國委員會之手。聞諸意國方面。意國代表。通告委員長。內容如左。

意大利。於理事會。任命五國委員會。投票之際。既已棄權。且脫英國。其他數件。

紛失五金
磋商自治

彰化郡鹿港庄役場。月十一日午前八時。召集庄協議會員。開委員會三十餘名。在會議室開開十餘分。協議事項。及

摸擬動員計畫
軍隊組織右派
團員八百萬

羅馬十日電。意國模擬總動員計畫。以一軍隊組織國粹團體。干現實。事實上已動員。不過部隊中。最近照

摸擬總動員實施期
與攻神祕國時期同
意國民軍威誇示世界

羅馬十日電。意國總首相全國粹團體模擬總動員實施時期。猛烈追究關係者。故事件參見發展。而鹿港線西沿線。

意全土國粹團
摸擬總動員
實施命令

羅馬十日電。意國總首相十日下命令。卽近於本國及殖民地。施行全國粹團體模擬總動員。其期日未確定。然有東阿風雲急時可堪計日云。

南署送迎會
十四夜龍山寺

臺北南警察署幹部。者番異動。原野。久保田。野田中原諸警部。森下。竹坡。古賀。寺田諸警部補。或轉入。或他轉。乃因各公會。保甲協會。州市協議會員。町委員發起。訂來十四日午後六時。假龍山寺開送迎會。會費一圓。欲加入者。可向西町事務所登明云。

座談日程

羅東郡下酒樓草及魚小賣人組合。為國親覺於掉方便及宣傳事宜品起見。訂左記日程及場所。欲開座談會。是日森永宜開出張所長。田中助役主任及胡組合長。張理事外十餘名。均擬臨席。

▲鐘東區。十三日午前九時。開于公會堂廟。

▲三星區。十四日午前九時。開于三星珈琲店樓上。

▲多山區。十五日午前九時。開于多山庄役場。

▲五結區。十六日午前九時。開于五結庄役場。

▲冬山區。十七日午前九時。開于冬山庄役場上。

彰化
砥商自治

紛失五金

彰化郡鹿港庄役場。月十一日午前八時。召集庄協議會員。開委員會三十餘名。在會議室開開十餘分。協議事項。及其他數件。

新莊警察課長
管內巡視日程

新莊郡警察課長原野千之先氏。偕小久警部補。為巡視管內各派出所。日程如左。

商況（十一日）

米況

正米市況前場

▲初盛基米

	中	先	限
一〇二五	一〇二九	一〇二六	
二八	二八	二八	
三〇	三〇	三〇	
二九	二九	二九	
三〇	三〇	三〇	

人事

▲元文部大臣田中館三氏、同其夫人公子一行、十一日午後四時四十分。自北到嘉義。是夜宿帝糊旅館。翌十二日午前八時五分。登阿里山。豫定十三日下山。觀察市內各要所。同日午後四時四十分。發嘉義歸。赴鳥山頭云。

▲東石郡蹟草庄醫師吳文龍氏之弟吳張氏蓮華。日前逝去。今回報通百日。吳氏將香奠金于九日。提交于鹿草庄役場云云

會事

▲大鎮町社。鷲洲勞組。櫻組三社聯合。為林一馬氏開歡迎會。期日定來十四日午後一時。會場所仮北區町委員事務所云。

▲前報大甲街水利組合評議員選舉。自區至八區。照預定。舉行。結局當選。左。餘俟准陳俊成。李榮子。邱時。陳添芳。莫清本。郭炳。王振財。高籍前。利源泉外數氏云。

株式

大阪短期前場

期米	前	高	安	後	商	出	帳
大阪期米前場							
東京期米前場							
神戶期米前場							
東京銀行賣株							
紐育株式							
公債							
東京國債前場							
為替							
外國為替相場							
砂糖							
玖馬							
爪哇							
肥料							
シカゴ小麥							
大阪砂糖現物							
神戶豆粕							
大阪清算							
銀塊							
大阪拂花							
大阪人絹							
橫濱生絲							
絲況							

帝糖中南線
貨車顚落
橋脚不堪載重

帝國製糖中南線。去九日午後十時五分。有無蓋車七輛。滿載蔗莫。發自溪湖。經已復舊云。

臺南大走私
案情複雜
來廿三日續審

本年六月中旬。臺南稅務署破獲之價三萬圓。大宗生阿片與中國網走私案。其後首魁元松關員。高雄州岡山郡湖內庄白沙崙。蘇生福。年三十。竝合夥之容兩市清水町一丁目黃厝氏。所投下莫大資金。及恩逑。年二十三。暨與蘇幫忙搬運走私品之該庄人。此次檢舉。史曙。許昆生。蘇李氏烏毛。葉文逢。蘇。馮順外兩名。以阿片令及關稅法違反罪。送諸臺南地方法院。去九朝十時。於該院刑事單獨部。由志郵判官承審。柳澤檢察官開與之下。開廷審理。被告等所延律師。多至七名。

許漢送檢察
詐取莫大金額
州刑事課捕之到案

本年六月中旬。臺南稅務署破獲之價三萬圓。大宗生阿片與中國網走私案。其後首魁元松關員。高雄州岡山郡湖內庄白沙崙。蘇生福。年三十。竝合夥之容兩市清水町一丁目黃厝氏。所投下莫大資金。及恩逑。年二十三。暨與蘇幫忙搬運走私品之該庄人。此次檢舉。史曙。許昆生。蘇李氏烏毛。葉文逢。蘇。馮順外兩名。以阿片令及關稅法違反罪。送諸臺南地方法院。去九朝十時。於該院刑事單獨部。由志郵判官承審。柳澤檢察官開與之下。開廷審理。被告等所延律師。多至七名。

許漢送檢察
詐取莫大金額
州刑事課捕之到案

本年六月中旬。臺南稅務署破獲之價三萬圓。大宗生阿片與中國網走私案。其後首魁元松關員。高雄州岡山郡湖內庄白沙崙。蘇生福。年三十。竝合夥之容兩市清水町一丁目黃厝氏。所投下莫大資金。及恩逑。年二十三。暨與蘇幫忙搬運走私品之該庄人。此次檢舉。史曙。許昆生。蘇李氏烏毛。葉文逢。蘇。馮順外兩名。以阿片令及關稅法違反罪。送諸臺南地方法院。去九朝十時。於該院刑事單獨部。由志郵判官承審。柳澤檢察官開與之下。開廷審理。被告等所延律師。多至七名。

關西方面雨害

新竹郡下關西方面一帶。去九日午後三時頃。為豪雨。家屋浸水。不少。新城溪。二十三日烏塗屈。十四日金瓜坑。十五日沛舍。坡等各派出所。

基隆水上署刑事
逮捕金密輸主犯

基隆水上署刑事係。去月八名。以上全部入場後。由宇都宮庶務課長。述開始之辭。次豐澤郡守。朗讀總督訓告。繼而一場之訓示。次宇都宮課長。就模擬選舉。有詳細之注意後。社頭庄長戶床氏。為選舉長。其餘一街七庄之各係員。亦同時就席。一時二十分。由選舉長。宣告開始投票。各選舉人。乃集於入口。向受付係就明。受取投票用紙。以秋山警察課長。最先入場投票。

大溪雨害

大溪街海山炭鑛事務所前之小溪。至午後服水。三尺餘。堤防約四間破壞。住家一棟倒壞。二棟浸水。被害約四百圓。堤防修理費用三百圓。計七百圓。倒壞住家之居住工夫六十四名。家私多少被其流失。目下詳查中云。

大溪雨害

大溪街海山炭鑛事務所前之小溪。至午後服水。三尺餘。堤防約四間破壞。住家一棟倒壞。二棟浸水。被害約四百圓。堤防修理費用三百圓。計七百圓。倒壞住家之居住工夫六十四名。家私多少被其流失。目下詳查中云。

基隆水上署刑事
逮捕金密輸主犯

基隆水上署刑事係。去月八名。以上全部入場後。由宇都宮庶務課長。述開始之辭。次豐澤郡守。朗讀總督訓告。繼而一場之訓示。次宇都宮課長。就模擬選舉。有詳細之注意後。社頭庄長戶床氏。為選舉長。其餘一街七庄之各係員。亦同時就席。一時二十分。由選舉長。宣告開始投票。各選舉人。乃集於入口。向受付係就明。受取投票用紙。以秋山警察課長。最先入場投票。

大溪雨害

大溪街海山炭鑛事務所前之小溪。至午後服水。三尺餘。堤防約四間破壞。住家一棟倒壞。二棟浸水。被害約四百圓。堤防修理費用三百圓。計七百圓。倒壞住家之居住工夫六十四名。家私多少被其流失。目下詳查中云。

嘉義
國調講習

嘉義郡。國勢調查委員事務關係者。九日午前八時。開于公會堂。講師州齡木保安係長。講習員二百七十餘名。午後四時終了。又同市定十日午前八時。員林郡警察課接報。警察名云。

蹴球競技

嘉義嘉北蹴球會主催。與高雄團對抗蹴球大會。定來十二日午後三時。在元女子公學校跡廣場。舉行。蹴球競技。嘉義此回為初舉云。

妓女仰毒

嘉義市西門町遊廓細娘（妓）竹太菊。年二十一。去九日午前。在自己寓室。服下藥劑。以圖自殺。苦悶時被同室人發見。急報主人。即延醫施救生命重鳥。原因為失戀云。

臺南
泛舟鹿耳

臺南共榮會。體育部。依向年之例。定此中秋後兩日。於鹿耳門。領略蟾光水色。當晚六時。會員集邁河之畔。乘船舉。於船中特開南晉之夢中班演唱。以為興致云。

落成先聲

臺南州新化郡土井庄役場。舉控仙資建築。竣工已久。因困拙故。落成式遲延至今。即定來十四日。由郡下各官紳臨席之上。在該庄行之。八日街路裝飾。店舖賜彩大賞並。

會事

▲大鎮町社。鷲洲勞組。櫻組三社聯合。為林一馬氏開歡迎會。期日定來十四日午後一時。會場所仮北區町委員事務所云。

人事

▲元文部大臣田中館三氏、同其夫人公子一行、十一日午後四時四十分。自北到嘉義。是夜宿帝糊旅館。翌十二日午前八時五分。登阿里山。豫定十三日下山。觀察市內各要所。同日午後四時四十分。發嘉義歸。赴鳥山頭云。

▲東石郡蹟草庄醫師吳文龍氏之弟吳張氏蓮華。日前逝去。今回報通百日。吳氏將香奠金于九日。提交于鹿草庄役場云云

商況（十一日）

米況

正米市況前場

▲初盛基米

	中	先	限
一〇二五	一〇二九	一〇二六	
二八	二八	二八	
三〇	三〇	三〇	
二九	二九	二九	
三〇	三〇	三〇	

株式

大阪短期前場

期米	前	高	安	後	商	出	帳
大阪期米前場							
東京期米前場							
神戶期米前場							
東京銀行賣株							
紐育株式							
公債							
東京國債前場							
為替							
外國為替相場							
砂糖							
玖馬							
爪哇							
肥料							
シカゴ小麥							
大阪砂糖現物							
神戶豆粕							
大阪清算							
銀塊							
大阪拂花							
大阪人絹							
橫濱生絲							
絲況							

臺灣日新報

日本唯一の夕刊紙　本社　臺北市新起町二丁目一番地　電話（一）二五番　定價　一箇月金壹圓　郵稅共

今迄に之程まとまつた凡ゆる場合に必要な言葉を網羅し組織的に編纂された「日滿會話辭典」はあるまい

日滿會話

修行の鍵はこれ!!

斯界の第一人者てラヂオ講座でおなじみの

東京外國語學校教授　宮越健太郎著

本書は日滿會話辭典であると同時に中國國語會話辭典でもある。また日本人の滿洲語會話辭典であるばかりでなく、滿洲國人のための日本語學習として至極便利な對譯の形式をとつてゐる。

つまり各篇、三列形式で、中央に滿洲語を置き、左列に發音を示し四聲の注點してゐる。右列に漢字で發音を示し四聲の注點してゐる。滿洲語には假名で發音を附す。

日滿關係緊密の際本書は我國中學、商業、青年學校等の絶好滿洲語課外教科書

全編は分類編纂形式で

一、發音法篇
二、會話篇
三、俗語篇
四、類別單語篇
五、假名排列單語篇
六、形容動詞副詞篇

の六篇に分れ、滿洲事情、滿洲帝國統治一覽、滿洲國現行稅制、滿洲國一覽表、日本人の滿洲に於ける職業、新しい會話、新しい單語等を別に附錄して、實用上遺憾なきを期した。

定價　二圓九十錢　送料内地十五錢　臺灣滿洲朝鮮廿錢

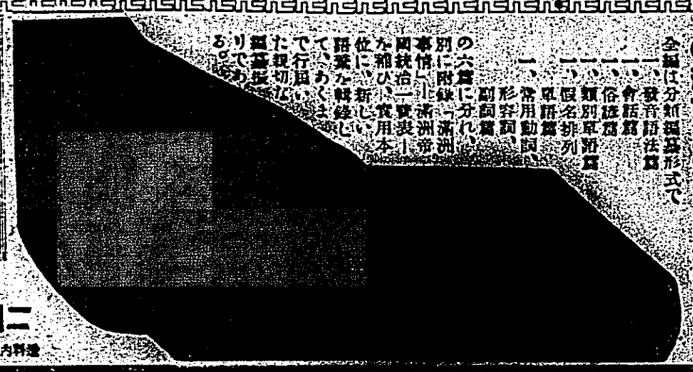
東京・神田　冨山房　振替東京五〇一〇番

最新刊

今後少くとも滿洲語の二こと三こと位話せるだけの用意は、日本人として是非もつてゐて欲しい。

◎ポケット版新三六判◎一千百九十六頁◎十五版

現在滿蒙にあるもの、將來彼地に活躍せんとする人々、これから滿洲國見學に出かける方はお忘れなくぜひ一冊。本書一冊をポケットに忍ばして置きさへすれば、滿洲はおろか支那各地の旅行に少しも不便を感じません。



丸久式粉撒機

丸久製粉機

丸久手廻製粉機

用途　麥、小豆、ソバ、其他一般穀類、タドン、木炭、ガラ、肥料、ヤシガラ、ヤシ、ガラ、ヤシ、ガラ、ヤシ、

日本と伊太利とは違ふ

伊エ問題と滿洲事變の特質

一

日本の滿洲事變に於て執つた政策に倣つて現に伊太利は國聯を向ふに廻はつつエチオピア侵略の一途に驀進してゐるとは、世間の無批判的な極端な輿論の一致する所であるやうだ。聞いたことには、我が國民中にも此の感情を暗に肯定し伊太利が日本を以て日本の後を追隨してゐると滿足してゐる様なものもあらうやに聞くが、これ等は見はるかも知れないものであり、第一論理上のプロセスを無視した斷定たるを免かれない。吾人は此の場合、明瞭に伊太利のエチオピアに對する態度なり動機なりは、滿洲事變時に滿洲及び支那本土に於て日本が執つたソレとは全然相違し、比較にも何にもならぬことを聲明する。

二

國聯、いま伊太利は、國際聯盟の規約には抵觸となり、恰も今より四年前、松岡全權がセネバにおいて和平斡旋を試みてゐた當時と、情勢は甚だしく似寄つたものがある。そして世界の輿論が其の行動を非として非難攻撃を浴びせてゐる點さえも可なり相通じたものがあるのやうだ。しかし日本の滿洲政權に對する態度と現在伊太利政府がエチオピアに對する態度とは、全然その出發點や動機を異にし、為たゞ仰ぎ非なるものであることを聯らねばならない。然らばその第一の相違點は何か。滿洲事變に於ける日本帝國自衛權の發動であり、素因にかける伊拉の過激はサドワの敗戰による復讐を目的とする侵略行爲であつて、或る點までその善惡に關係すると雖も、伊太利が國内的理由に制裁されてゐるとの點以上に出ることは出來ない。

三

世人の中には、滿洲事變の直接原因たる國際聯盟の態度を、實質上日支戰爭にまで展開させた滿洲事件の原因とするには餘りに心過ぎるなどと觀てゐる者もあるらしいが、それは單程度政府が多年排日の有ゆる工作を續め、滿洲に於ける日本は手も足も出ず、白農公道の通行すら無理や迫害なしには出來ぬという程の三進もならぬ窮境を考の裡に入れぬかぎりだ。現地を踏み、滿洲政權時代の實情を審かに知る者には、日本があの時、自衛權を敢然的に發動させなければならなかつた眞相が充分に會得できないかも知れぬが一度その實情を切實した經の者たちら支那の暴狀に對し強ち日本人なりすとも滿腹憤慨せずには居られないであらう。

四

第二の著しい相違點は、滿洲事變後に自然の結果として捲き起された滿洲民族獨立の機運で日本は此機運を援助のものとし之に同情を寄せ支援を與へて今日見る様な新興滿洲國の誕生となつたのだが、伊太利のエチオピア出兵は、攻略と統治とが手段であり目的であるか知らぬ。或はエ國の奴隷制度などを改めさせねばとの主張もあるやうだが、既にソレが目的なら國聯規約の下に行はしめるのである。この點は、伊エ紛爭が今日の如き重大問題に發展せずとも、伊太利の立場よりは何時かは必ず起つべき問題であり、伊太利の一方的解決を許さゞるものがあつたであらう。

五

之を要するに、東洋における日本の地位は、自發上の行動以外に、あらゆる點に於ても、常に發展を續けて行かねばならぬ。然るに滿洲民族の獨立は、支那が無制限、無秩序の下に飛躍のみが生殺與奪の權を握り、苛斂誅求を專らにし一般民衆に生命財産の保護さえ與へざるの實狀に蜂起したものであつて、東洋唯一の安定勢力たる日本の立場よりせば之を無視心に見過ごすことは出來ないことは日瞭然たるものあり國際の信義とに依て支配され、歐洲等に於ける如く他の強性の上に自國の繁榮や自國民の安樂を增ふといふ自己のみ滿足するが如きことは無きを望まれるのである。

前田（米藏）氏に斷られ 望月氏自ら引受く

新黨計畫に資し 床次系殘黨を救ふ

【東京十一日發】十日組閣命令上り組閣準備中の前田米藏氏は、十一日午後五時半前田商相を通じて望月圭介氏に對し入閣を交渉したが、望月氏は之を斷つたので、前田氏は遂に組閣の大命を拜辭するに至つた。

臺北で開催する 第廿八回 米穀大會

會議の順序其他決定

大日本米穀會第二十八回大會は同會創立以來初めて臺北に於て開催されることになつてゐるが、同會では既報の如く臺北信用組合聯合會、臺北市内信組、臺北市内各信用組合等の協賛を得て、來る十月廿四、五兩日の二日間臺北市公會堂に於て開催することに決定し、目下準備中であるが、其の順序は左の如く決定した。

第一日（十月廿四日）

▲開會（午前九時開會）▲會長挨拶▲來賓祝辭▲會務報告▲會計報告▲會長報告▲會長退場▲休憩▲講演（午前十時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲休憩▲講演（午後一時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲閉會

第二日（十月廿五日）

▲開會（午前九時開會）▲會長挨拶▲來賓祝辭▲會務報告▲會計報告▲會長報告▲會長退場▲休憩▲講演（午前十時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲休憩▲講演（午後一時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲閉會

大會順序

第一日（十月廿四日午前九時開會）會員受付▲開會▲會長挨拶▲來賓祝辭▲會務報告▲會計報告▲會長報告▲會長退場▲休憩▲講演（午前十時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲休憩▲講演（午後一時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲閉會

第二日（十月廿五日午前九時開會）會員受付▲開會▲會長挨拶▲來賓祝辭▲會務報告▲會計報告▲會長報告▲會長退場▲休憩▲講演（午前十時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲休憩▲講演（午後一時開會）▲講師紹介▲講演▲講師退場▲閉會

大會順序

第一日（十月廿四

都會化粧

岸田國士 作

田中良畫

野ばら(七)

部屋の突ひ髪が、例の笑窪でもそれが少し尾を曳きすぎると思ってゐると、果して、しばれを切らした饅が、こつち〳〵起つて來ようとしてゐる。手には鞄子とステッキを持つて「僕はお先へ」と云ひだけな表情で、一つ時、醒つてゐるのであらう。

部屋は、それに氣がついた。

「どら、お連れがお待ちかねのやうだから、今日はこれくらゐにしとかうぢやないか、返事を下さいね」

照子はやつと顧のそばへ醒つて來た。

「ごめんなさい、なんだと思つたら、つまらない話……」

さう小聲で囁いて、パラソルとハンドバックを取り上げた。

外に出ると、照は、レコードを二三枚買つて行くからと云ひ、十字路の二階に上つた。小さなキャビンの扉を押めきると、照子はほつとした。こんなに手輕に、こんなに完全に、彼と二人きりになれる場所があらうとは知らなかつたやがて、靜にかかつたツプラノの輕い甘やかなメロディーが流れて來た。

「これ、知つてまか？」

照は、眼をちつと天井に据えたまま照子に訊れた。

「ジョセフィン・ベニカア……」

「ああ、あの黒ん坊の……？」

「さう。とても素的でせう？　感情が豐富で、しかも、あの野性的なところがいゝ。醜悪の果物の味ですね」

照子は、音樂のことをさういふ風に批評する癖を、いつぱしの通であると思ひ込んだ。自分もほんとうは音樂をやりたかつたのだと思ふと、なんだか、今迄、無駄なことをして來たやうな氣がした。これからでも、なんとかして勉強を始めないかしらなどと、及びもつかぬ夢をしてみるのだつた。

學校の自由課目として、去年からほつ〳〵やつてゐるフランス語の力が、やうやく、ベニカアの「モン・パイ・エ・パリイ」(おかふるさと、それ巴里、といふ文句の意味をわからせてくれる。黒ん坊の女でさへ、「わが故郷、それは巴里」と歌つてゐる。そしてまた腰が訊ねた。

「存じません」

「ハイドンさん、聞いたやうな聞かないやうな名である。彼女はぼつと顧が赤くなり、自分ながら頼りなくなつて來た。

「今度はわかるでせう」

照の顧が、なるほど、聽いたことのある旋を歌ひ出した。ただしそれがちつとも不自然でない。世界の都は、あらゆる子龍と、あらゆる裏じさと、あらゆる人氣とを照に集めてゐるのだ。レコードは何時の間にかかり替へられてゐた。今度も、まつて知らない舞曲である。モツプルトか知らと思つてゐると、

「知つてまか？」

照子は、首を輕く振つた。

「ああ、思い、失敬しました」

と云つて、上體を醒いだ。彼女はそれを甲斐々々しく受取つて、そこの椅子掛けにひつかけた。そして、彼が歌つてそれをきせてくれたことに、もう云ひしれぬ悦りを感じ、晴れ〳〵と顧を輝やかして再びレコードに聽き入つた。

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操

今日のお天氣のお知らせ　東北觀測所發表

【七・二〇】全國農業通報(東京)

【八・〇〇】商生ノモ(東京)

【九・二〇】家庭百科問答、體溫、脈搏、呼吸について

【一〇・〇〇】家庭料理献立(東北、女子商業學校原田久代案、十五夜の料理、一、お供へ團子代り三、素物　知のみどり煮四、栗五、酢のもの

【一一・〇〇】月用品小賣值段(各局)　午後のプログラム紹介(各局)

午後の部

【一二・一五】正午の時報、気象通報、東北觀測所發表

【〇・〇一】放送局調節ニュース

【〇・〇一】管絃樂時間(レコード演奏)　一、時曲(ファゼヒ作曲)二、エモレスク(ドヴオルザーク作曲)ヤルミラ・ノヴオトナ、三、夜想曲(フランク作曲)四、長き後の歌(セヴラック作曲)シャルルバンゼラ合唱二、歌劇「魔彈の射手」(ウエーバー作曲)二、ラデツキー行進曲(シユトラウス作曲)ニルク男聲合唱團

【〇・五〇】郵便市況に引續き、內務省定期航空機人體時刻と假飛行時刻のお知らせ、鐵道部運轉部發表

【二・四〇】全國気象通報(東京)

【三・〇〇】子供の時間(東京)　お話、月の傳說(子供のテキスト)

【五・一〇】コトその新聞(東京)

【五・二五】英語講座(第北、英文小說、隨筆研究(第二課)秦北苗帶校教授小山捨男、テキスト一冊三十錢、英料四錢

【五・五五】カレント・トピックス(東京)

【六・〇〇】子供の時間(東北)　兒童劇、月夜の野原(愛國兒童會)

【六・三〇】講演(東北)　釋放者保護團體(仙臺)役員を迎ふるに當りて、出席總督府關係長官木塚保護課長八講演(東北)乃木大將、十三年祭に就て、小松吉久

仲秋名月の夕

【七・〇〇】御京名月の實況(京城)　平壤牡丹臺下大同江畔より中繼(中天の露は同所より新民謠と西道歌謠の放送

【七・一〇】尺八と獨唱(大阪)尺八上田方仙、獨唱太田錠子、尺八獨奏、月の曲、二、獨唱、月を詠める(尾上柴舟作詞、宮原禁太作曲)(管絃樂伴奏)ロ、水邊月夜の歌(佐佐木信綱作詞、久本ヶ智作曲)新日本音樂伴奏)

【七・四〇】仲秋名月實況(東京)　東京原北多摩地區を際川原より中繼、雨天の場合は玉川平等院より中繼、一、開會、二、村の九月(德富蘆花原作)一、監劇のために中の(即、德富愛子、二、朗讀イ、國光の智者、北原白秋作)ロ、トラピストの牛(同右)ハ、鴨(同上)北原白秋　三、ラジオ風俗名月に寄す。

【八・二〇】時報、東京

【八・二一】仲秋名月實況(東北)　一、(續南一)より　自八・三一至八・四六　續南一市水道地公園博覽館より中繼二、(續北より)　自八・五八至九・二〇、續神社殿より中繼

【九・一〇】気象通報、東北觀測所發表(假發信機)ニュース、新聞記事提供ニュース(各局)公示通告知事項(各局)明日のプログラム紹介(各局)

雜誌紹介

▲婦人公論(九月號)　田名部(谷田部子)紅い夕日(日上典子、明子)血(島まさ)ひとりの男(篠川陽子)十圓のネクタイ(吉屋英子)カプナウリの復讐、ポピンス力學(弘子)等の創作をはじめとし、文藝時評(藏田照子、永瀬清子)ロゾオの文藝觀(イ・スレノプ八林秒)新しい映畫の紹介(尾井田照子及蜂飼耳)愛結婚、離婚(作田花世、平林英子、光成秀子、吉屋なつ子、山川朱實石川秀子)その他を網羅してゐる多少のうるほひを持つた堅實な婦人雜誌である。

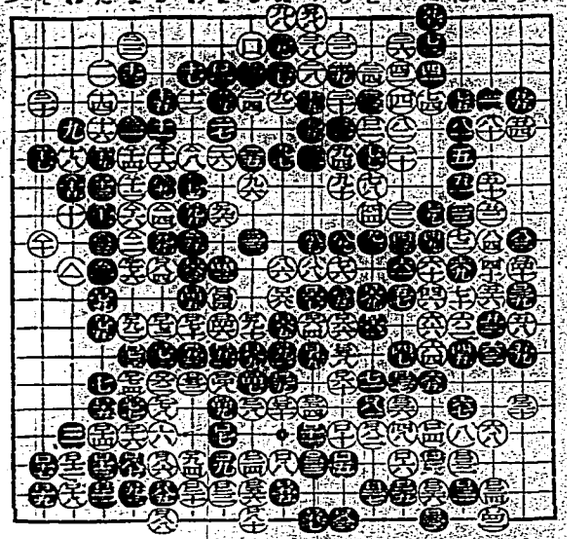
(東京)

日本棋院 春季大手合戰譜

（第五局の八）

三段　渡邊英一夫

黒中押勝　先初段　山口繁治



一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六

●一一たの八　●二一よの七　○三一ろの七　●四一よの六　●五一れの七　○六一かの六　●七一ゐの六　○八一ゐ劫トル　●九一ゐの六　○一〇一ゐの四　●一一ゐの五　○一二一よの二　●一三一ろの九

●一四一同

○一二一よの二　●一三一たの七　○一四一ゐの六　●一五一ゐの六　○一六一ゐの六　●一七一ゐの六　○一八一ゐ劫トル　●一九一ゐの六　○二〇一ゐの四　●二一一ゐの五　○二二一よの二　●二三一ろの九

●二四一同

○二五一ヲ　●二六一ヲ　○二七一ヲ　●二八一ヲ　○二九一ヲ　●三〇一ヲ　○三一ヲ　●三二一ヲ　○三三一ヲ　●三四一ヲ　○三五一ヲ　●三六一ヲ　○三七一ヲ　●三八一ヲ　○三九一ヲ　●四〇一ヲ　○四一一ヲ　●四二一ヲ　○四三一ヲ　●四四一ヲ　○四五一ヲ　●四六一ヲ　○四七一ヲ　●四八一ヲ　○四九一ヲ　●五〇一ヲ　○五一一ヲ　●五二一ヲ　○五三一ヲ　●五四一ヲ　○五五一ヲ　●五六一ヲ　○五七一ヲ　●五八一ヲ　○五九一ヲ　●六〇一ヲ　○六一一ヲ　●六二一ヲ　○六三一ヲ　●六四一ヲ　○六五一ヲ　●六六一ヲ　○六七一ヲ　●六八一ヲ　○六九一ヲ　●七〇一ヲ　○七一一ヲ　●七二一ヲ　○七三一ヲ　●七四一ヲ　○七五一ヲ　●七六一ヲ　○七七一ヲ　●七八一ヲ　○七九一ヲ　●八〇一ヲ　○八一一ヲ　●八二一ヲ　○八三一ヲ　●八四一ヲ　○八五一ヲ　●八六一ヲ　○八七一ヲ　●八八一ヲ　○八九一ヲ　●九〇一ヲ　○九一一ヲ　●九二一ヲ　○九三一ヲ　●九四一ヲ　○九五一ヲ　●九六一ヲ　○九七一ヲ　●九八一ヲ　○九九一ヲ　●一〇〇一ヲ　○一〇一一ヲ　●一〇二一ヲ　○一〇三一ヲ　●一〇四一ヲ　○一〇五一ヲ　●一〇六一ヲ　○一〇七一ヲ　●一〇八一ヲ　○一〇九一ヲ　●一一〇一ヲ　○一一一ヲ　●一一二一ヲ　○一一三一ヲ　●一一四一ヲ　○一一五一ヲ　●一一六一ヲ　○一一七一ヲ　●一一八一ヲ　○一一九一ヲ　●一二〇一ヲ　○一二一一ヲ　●一二二一ヲ　○一二三一ヲ　●一二四一ヲ　○一二五一ヲ　●一二六一ヲ　○一二七一ヲ　●一二八一ヲ　○一二九一ヲ　●一三〇一ヲ　○一三一一ヲ　●一三二一ヲ　○一三三一ヲ　●一三四一ヲ　○一三五一ヲ　●一三六一ヲ　○一三七一ヲ　●一三八一ヲ　○一三九一ヲ　●一四〇一ヲ　○一四一一ヲ　●一四二一ヲ　○一四三一ヲ　●一四四一ヲ　○一四五一ヲ　●一四六一ヲ　○一四七一ヲ　●一四八一ヲ　○一四九一ヲ　●一五〇一ヲ　○一五一一ヲ　●一五二一ヲ　○一五三一ヲ　●一五四一ヲ　○一五五一ヲ　●一五六一ヲ　○一五七一ヲ　●一五八一ヲ　○一五九一ヲ　●一六〇一ヲ　○一六一一ヲ　●一六二一ヲ　○一六三一ヲ　●一六四一ヲ　○一六五一ヲ　●一六六一ヲ　○一六七一ヲ　●一六八一ヲ　○一六九一ヲ　●一七〇一ヲ　○一七一一ヲ　●一七二一ヲ　○一七三一ヲ　●一七四一ヲ　○一七五一ヲ　●一七六一ヲ　○一七七一ヲ　●一七八一ヲ　○一七九一ヲ　●一八〇一ヲ　○一八一一ヲ　●一八二一ヲ　○一八三一ヲ　●一八四一ヲ　○一八五一ヲ　●一八六一ヲ　○一八七一ヲ　●一八八一ヲ　○一八九一ヲ　●一九〇一ヲ　○一九一一ヲ　●一九二一ヲ　○一九三一ヲ　●一九四一ヲ　○一九五一ヲ　●一九六一ヲ　○一九七一ヲ　●一九八一ヲ　○一九九一ヲ　●二〇〇一ヲ　○二〇一一ヲ　●二〇二一ヲ　○二〇三一ヲ　●二〇四一ヲ　○二〇五一ヲ　●二〇六一ヲ　○二〇七一ヲ　●二〇八一ヲ　○二〇九一ヲ　●二一〇一ヲ　○二一一ヲ　●二一二一ヲ　○二一三一ヲ　●二一四一ヲ　○二一五一ヲ　●二一六一ヲ　○二一七一ヲ　●二一八一ヲ　○二一九一ヲ　●二二〇一ヲ　○二二一一ヲ　●二二二一ヲ　○二二三一ヲ　●二二四一ヲ　○二二五一ヲ　●二二六一ヲ　○二二七一ヲ　●二二八一ヲ　○二二九一ヲ　●二三〇一ヲ　○二三一一ヲ　●二三二一ヲ　○二三三一ヲ　●二三四一ヲ　○二三五一ヲ　●二三六一ヲ　○二三七一ヲ　●二三八一ヲ　○二三九一ヲ　●二四〇一ヲ　○二四一一ヲ　●二四二一ヲ　○二四三一ヲ　●二四四一ヲ　○二四五一ヲ　●二四六一ヲ　○二四七一ヲ　●二四八一ヲ　○二四九一ヲ　●二五〇一ヲ　○二五一一ヲ　●二五二一ヲ　○二五三一ヲ　●二五四一ヲ　○二五五一ヲ　●二五六一ヲ　○二五七一ヲ　●二五八一ヲ　○二五九一ヲ　●二六〇一ヲ　○二六一一ヲ　●二六二一ヲ　○二六三一ヲ　●二六四一ヲ　○二六五一ヲ　●二六六一ヲ　○二六七一ヲ　●二六八一ヲ　○二六九一ヲ　●二七〇一ヲ　○二七一一ヲ　●二七二一ヲ　○二七三一ヲ　●二七四一ヲ　○二七五一ヲ　●二七六一ヲ　○二七七一ヲ　●二七八一ヲ　○二七九一ヲ　●二八〇一ヲ　○二八一一ヲ　●二八二一ヲ　○二八三一ヲ　●二八四一ヲ　○二八五一ヲ　●二八六一ヲ　○二八七一ヲ　●二八八一ヲ　○二八九一ヲ　●二九〇一ヲ　○二九一一ヲ　●二九二一ヲ　○二九三一ヲ　●二九四一ヲ　○二九五一ヲ　●二九六一ヲ　○二九七一ヲ　●二九八一ヲ　○二九九一ヲ　●三〇〇一ヲ　○三〇一一ヲ　●三〇二一ヲ　○三〇三一ヲ　●三〇四一ヲ　○三〇五一ヲ　●三〇六一ヲ　○三〇七一ヲ　●三〇八一ヲ　○三〇九一ヲ　●三一〇一ヲ　○三一一ヲ　●三一二一ヲ　○三一三一ヲ　●三一四一ヲ　○三一五一ヲ　●三一六一ヲ　○三一七一ヲ　●三一八一ヲ　○三一九一ヲ　●三二〇一ヲ　○三二一一ヲ　●三二二一ヲ　○三二三一ヲ　●三二四一ヲ　○三二五一ヲ　●三二六一ヲ　○三二七一ヲ　●三二八一ヲ　○三二九一ヲ　●三三〇一ヲ　○三三一一ヲ　●三三二一ヲ　○三三三一ヲ　●三三四一ヲ　○三三五一ヲ　●三三六一ヲ　○三三七一ヲ　●三三八一ヲ　○三三九一ヲ　●三四〇一ヲ　○三四一一ヲ　●三四二一ヲ　○三四三一ヲ　●三四四一ヲ　○三四五一ヲ　●三四六一ヲ　○三四七一ヲ　●三四八一ヲ　○三四九一ヲ　●三五〇一ヲ　○三五一一ヲ　●三五二一ヲ　○三五三一ヲ　●三五四一ヲ　○三五五一ヲ　●三五六一ヲ　○三五七一ヲ　●三五八一ヲ　○三五九一ヲ　●三六〇一ヲ　○三六一一ヲ　●三六二一ヲ　○三六三一ヲ　●三六四一ヲ　○三六五一ヲ　●三六六一ヲ　○三六七一ヲ　●三六八一ヲ　○三六九一ヲ　●三七〇一ヲ　○三七一一ヲ　●三七二一ヲ　○三七三一ヲ　●三七四一ヲ　○三七五一ヲ　●三七六一ヲ　○三七七一ヲ　●三七八一ヲ　○三七九一ヲ　●三八〇一ヲ　○三八一一ヲ　●三八二一ヲ　○三八三一ヲ　●三八四一ヲ　○三八五一ヲ　●三八六一ヲ　○三八七一ヲ　●三八八一ヲ　○三八九一ヲ　●三九〇一ヲ　○三九一一ヲ　●三九二一ヲ　○三九三一ヲ　●三九四一ヲ　○三九五一ヲ　●三九六一ヲ　○三九七一ヲ　●三九八一ヲ　○三九九一ヲ　●四〇〇一ヲ　○四〇一一ヲ　●四〇二一ヲ　○四〇三一ヲ　●四〇四一ヲ　○四〇五一ヲ　●四〇六一ヲ　○四〇七一ヲ　●四〇八一ヲ　○四〇九一ヲ　●四一〇一ヲ　○四一一一ヲ　●四一二一ヲ　○四一三一ヲ　●四一四一ヲ　○四一五一ヲ　●四一六一ヲ　○四一七一ヲ　●四一八一ヲ　○四一九一ヲ　●四二〇一ヲ　○四二一一ヲ　●四二二一ヲ　○四二三一ヲ　●四二四一ヲ　○四二五一ヲ　●四二六一ヲ　○四二七一ヲ　●四二八一ヲ　○四二九一ヲ　●四三〇一ヲ　○四三一一ヲ　●四三二一ヲ　○四三三一ヲ　●四三四一ヲ　○四三五一ヲ　●四三六一ヲ　○四三七一ヲ　●四三八一ヲ　○四三九一ヲ　●四四〇一ヲ　○四四一一ヲ　●四四二一ヲ　○四四三一ヲ　●四四四一ヲ　○四四五一ヲ　●四四六一ヲ　○四四七一ヲ　●四四八一ヲ　○四四九一ヲ　●四五〇一ヲ　○四五一一ヲ　●四五二一ヲ　○四五三一ヲ　●四五四一ヲ　○四五五一ヲ　●四五六一ヲ　○四五七一ヲ　●四五八一ヲ　○四五九一ヲ　●四六〇一ヲ　○四六一一ヲ　●四六二一ヲ　○四六三一ヲ　●四六四一ヲ　○四六五一ヲ　●四六六一ヲ　○四六七一ヲ　●四六八一ヲ　○四六九一ヲ　●四七〇一ヲ　○四七一一ヲ　●四七二一ヲ　○四七三一ヲ　●四七四一ヲ　○四七五一ヲ　●四七六一ヲ　○四七七一ヲ　●四七八一ヲ　○四七九一ヲ　●四八〇一ヲ　○四八一一ヲ　●四八二一ヲ　○四八三一ヲ　●四八四一ヲ　○四八五一ヲ　●四八六一ヲ　○四八七一ヲ　●四八八一ヲ　○四八九一ヲ　●四九〇一ヲ　○四九一一ヲ　●四九二一ヲ　○四九三一ヲ　●四九四一ヲ　○四九五一ヲ　●四九六一ヲ　○四九七一ヲ　●四九八一ヲ　○四九九一ヲ　●五〇〇一ヲ　○五〇一一ヲ　●五〇二一ヲ　○五〇三一ヲ　●五〇四一ヲ　○五〇五一ヲ　●五〇六一ヲ　○五〇七一ヲ　●五〇八一ヲ　○五〇九一ヲ　●五一〇一ヲ　○五一一一ヲ　●五一二一ヲ　○五一三一ヲ　●五一四一ヲ　○五一五一ヲ　●五一六一ヲ　○五一七一ヲ　●五一八一ヲ　○五一九一ヲ　●五二〇一ヲ　○五二一一ヲ　●五二二一ヲ　○五二三一ヲ　●五二四一ヲ　○五二五一ヲ　●五二六一ヲ　○五二七一ヲ　●五二八一ヲ　○五二九一ヲ　●五三〇一ヲ　○五三一一ヲ　●五三二一ヲ　○五三三一ヲ　●五三四一ヲ　○五三五一ヲ　●五三六一ヲ　○五三七一ヲ　●五三八一ヲ　○五三九一ヲ　●五四〇一ヲ　○五四一一ヲ　●五四二一ヲ　○五四三一ヲ　●五四四一ヲ　○五四五一ヲ　●五四六一ヲ　○五四七一ヲ　●五四八一ヲ　○五四九一ヲ　●五五〇一ヲ　○五五一一ヲ　●五五二一ヲ　○五五三一ヲ　●五五四一ヲ　○五五五一ヲ　●五五六一ヲ　○五五七一ヲ　●五五八一ヲ　○五五九一ヲ　●五六〇一ヲ　○五六一一ヲ　●五六二一ヲ　○五六三一ヲ　●五六四一ヲ　○五六五一ヲ　●五六六一ヲ　○五六七一ヲ　●五六八一ヲ　○五六九一ヲ　●五七〇一ヲ　○五七一一ヲ　●五七二一ヲ　○五七三一ヲ　●五七四一ヲ　○五七五一ヲ　●五七六一ヲ　○五七七一ヲ　●五七八一ヲ　○五七九一ヲ　●五八〇一ヲ　○五八一一ヲ　●五八二一ヲ　○五八三一ヲ　●五八四一ヲ　○五八五一ヲ　●五八六一ヲ　○五八七一ヲ　●五八八一ヲ　○五八九一ヲ　●五九〇一ヲ　○五九一一ヲ　●五九二一ヲ　○五九三一ヲ　●五九四一ヲ　○五九五一ヲ　●五九六一ヲ　○五九七一ヲ　●五九八一ヲ　○五九九一ヲ　●六〇〇一ヲ　○六〇一一ヲ　●六〇二一ヲ　○六〇三一ヲ　●六〇四一ヲ　○六〇五一ヲ　●六〇六一ヲ　○六〇七一ヲ　●六〇八一ヲ　○六〇九一ヲ　●六一〇一ヲ　○六一一一ヲ　●六一二一ヲ　○六一三一ヲ　●六一四一ヲ　○六一五一ヲ　●六一六一ヲ　○六一七一ヲ　●六一八一ヲ　○六一九一ヲ　●六二〇一ヲ　○六二一一ヲ　●六二二一ヲ　○六二三一ヲ　●六二四一ヲ　○六二五一ヲ　●六二六一ヲ　○六二七一ヲ　●六二八一ヲ　○六二九一ヲ　●六三〇一ヲ　○六三一一ヲ　●六三二一ヲ　○六三三一ヲ　●六三四一ヲ　○六三五一ヲ　●六三六一ヲ　○六三七一ヲ　●六三八一ヲ　○六三九一ヲ　●六四〇一ヲ　○六四一一ヲ　●六四二一ヲ　○六四三一ヲ　●六四四一ヲ　○六四五一ヲ　●六四六一ヲ　○六四七一ヲ　●六四八一ヲ　○六四九一ヲ　●六五〇一ヲ　○六五一一ヲ　●六五二一ヲ　○六五三一ヲ　●六五四一ヲ　○六五五一ヲ　●六五六一ヲ　○六五七一ヲ　●六五八一ヲ　○六五九一ヲ　●六六〇一ヲ　○六六一一ヲ　●六六二一ヲ　○六六三一ヲ　●六六四一ヲ　○六六五一ヲ　●六六六一ヲ　○六六七一ヲ　●六六八一ヲ　○六六九一ヲ　●六七〇一ヲ　○六七一一ヲ　●六七二一ヲ　○六七三一ヲ　●六七四一ヲ　○六七五一ヲ　●六七六一ヲ　○六七七一ヲ　●六七八一ヲ　○六七九一ヲ　●六八〇一ヲ　○六八一一ヲ　●六八二一ヲ　○六八三一ヲ　●六八四一ヲ　○六八五一ヲ　●六八六一ヲ　○六八七一ヲ　●六八八一ヲ　○六八九一ヲ　●六九〇一ヲ　○六九一一ヲ　●六九二一ヲ　○六九三一ヲ　●六九四一ヲ　○六九五一ヲ　●六九六一ヲ　○六九七一ヲ　●六九八一ヲ　○六九九一ヲ　●七〇〇一ヲ　○七〇一一ヲ　●七〇二一ヲ　○七〇三一ヲ　●七〇四一ヲ　○七〇五一ヲ　●七〇六一ヲ　○七〇七一ヲ　●七〇八一ヲ　○七〇九一ヲ　●七一〇一ヲ　○七一一一ヲ　●七一二一ヲ　○七一三一ヲ　●七一四一ヲ　○七一五一ヲ　●七一六一ヲ　○七一七一ヲ　●七一八一ヲ　○七一九一ヲ　●七二〇一ヲ　○七二一一ヲ　●七二二一ヲ　○七二三一ヲ　●七二四一ヲ　○七二五一ヲ　●七二六一ヲ　○七二七一ヲ　●七二八一ヲ　○七二九一ヲ　●七三〇一ヲ　○七三一一ヲ　●七三二一ヲ　○七三三一ヲ　●七三四一ヲ　○七三五一ヲ　●七三六一ヲ　○七三七一ヲ　●七三八一ヲ　○七三九一ヲ　●七四〇一ヲ　○七四一一ヲ　●七四二一ヲ　○七四三一ヲ　●七四四一ヲ　○七四五一ヲ　●七四六一ヲ　○七四七一ヲ　●七四八一ヲ　○七四九一ヲ　●七五〇一ヲ　○七五一一ヲ　●七五二一ヲ　○七五三一ヲ　●七五四一ヲ　○七五五一ヲ　●七五六一ヲ　○七五七一ヲ　●七五八一ヲ　○七五九一ヲ　●七六〇一ヲ　○七六一一ヲ　●七六二一ヲ　○七六三一ヲ　●七六四一ヲ　○七六五一ヲ　●七六六一ヲ　○七六七一ヲ　●七六八一ヲ　○七六九一ヲ　●七七〇一ヲ　○七七一一ヲ　●七七二一ヲ　○七七三一ヲ　●七七四一ヲ　○七七五一ヲ　●七七六一ヲ　○七七七一ヲ　●七七八一ヲ　○七七九一ヲ　●七八〇一ヲ　○七八一一ヲ　●七八二一ヲ　○七八三一ヲ　●七八四一ヲ　○七八五一ヲ　●七八六一ヲ　○七八七一ヲ　●七八八一ヲ　○七八九一ヲ　●七九〇一ヲ　○七九一一ヲ　●七九二一ヲ　○七九三一ヲ　●七九四一ヲ　○七九五一ヲ　●七九六一ヲ　○七九七一ヲ　●七九八一ヲ　○七九九一ヲ　●八〇〇一ヲ　○八〇一一ヲ　●八〇二一ヲ　○八〇三一ヲ　●八〇四一ヲ　○八〇五一ヲ　●八〇六一ヲ　○八〇七一ヲ　●八〇八一ヲ　○八〇九一ヲ　●八一〇一ヲ　○八一一一ヲ　●八一二一ヲ　○八一三一ヲ　●八一四一ヲ　○八一五一ヲ　●八一六一ヲ　○八一七一ヲ　●八一八一ヲ　○八一九一ヲ　●八二〇一ヲ　○八二一一ヲ　●八二二一ヲ　○八二三一ヲ　●八二四一ヲ　○八二五一ヲ　●八二六一ヲ　○八二七一ヲ　●八二八一ヲ　○八二九一ヲ　●八三〇一ヲ　○八三一一ヲ　●八三二一ヲ　○八三三一ヲ　●八三四一ヲ　○八三五一ヲ　●八三六一ヲ　○八三七一ヲ　●八三八一ヲ　○八三九一ヲ　●八四〇一ヲ　○八四一一ヲ　●八四二一ヲ　○八四三一ヲ　●八四四一ヲ　○八四五一ヲ　●八四六一ヲ　○八四七一ヲ　●八四八一ヲ　○八四九一ヲ　●八五〇一ヲ　○八五一一ヲ　●八五二一ヲ　○八五三一ヲ　●八五四一ヲ　○八五五一ヲ　●八五六一ヲ　○八五七一ヲ　●八五八一ヲ　○八五九一ヲ　●八六〇一ヲ　○八六一一ヲ　●八六二一ヲ　○八六三一ヲ　●八六四一ヲ　○八六五一ヲ　●八六六一ヲ　○八六七一ヲ　●八六八一ヲ　○八六九一ヲ　●八七〇一ヲ　○八七一一ヲ　●八七二一ヲ　○八七三一ヲ　●八七四一ヲ　○八七五一ヲ　●八七六一ヲ　○八七七一ヲ　●八七八一ヲ　○八七九一ヲ　●八八〇一ヲ　○八八一一ヲ　●八八二一ヲ　○八八三一ヲ　●八八四一ヲ　○八八五一ヲ　●八八六一ヲ　○八八七一ヲ　●八八八一ヲ　○八八九一ヲ　●八九〇一ヲ　○八九一一ヲ　●八九二一ヲ　○八九三一ヲ　●八九四一ヲ　○八九五一ヲ　●八九六一ヲ　○八九七一ヲ　●八九八一ヲ　○八九九一ヲ　●九〇〇一ヲ　○九〇一一ヲ　●九〇二一ヲ　○九〇三一ヲ　●九〇四一ヲ　○九〇五一ヲ　●九〇六一ヲ　○九〇七一ヲ　●九〇八一ヲ　○九〇九一ヲ　●九一〇一ヲ　○九一一一ヲ　●九一二一ヲ　○九一三一ヲ　●九一四一ヲ　○九一五一ヲ　●九一六一ヲ　○九一七一ヲ　●九一八一ヲ　○九一九一ヲ　●九二〇一ヲ　○九二一一ヲ　●九二二一ヲ　○九二三一ヲ　●九二四一ヲ　○九二五一ヲ　●九二六一ヲ　○九二七一ヲ　●九二八一ヲ　○九二九一ヲ　●九三〇一ヲ　○九三一一ヲ　●九三二一ヲ　○九三三一ヲ　●九三四一ヲ　○九三五一ヲ　●九三六一ヲ　○九三七一ヲ　●九三八一ヲ　○九三九一ヲ　●九四〇一ヲ　○九四一一ヲ　●九四二一ヲ　○九四三一ヲ　●九四四一ヲ　○九四五一ヲ　●九四六一ヲ　○九四七一ヲ　●九四八一ヲ　○九四九一ヲ　●九五〇一ヲ　○九五一一ヲ　●九五二一ヲ　○九五三一ヲ　●九五四一ヲ　○九五五一ヲ　●九五六一ヲ　○九五七一ヲ　●九五八一ヲ　○九五九一ヲ　●九六〇一ヲ　○九六一一ヲ　●九六二一ヲ　○九六三一ヲ　●九六四一ヲ　○九六五一ヲ　●九六六一ヲ　○九六七一ヲ　●九六八一ヲ　○九六九一ヲ　●九七〇一ヲ　○九七一一ヲ　●九七二一ヲ　○九七三一ヲ　●九七四一ヲ　○九七五一ヲ　●九七六一ヲ　○九七七一ヲ　●九七八一ヲ　○九七九一ヲ　●九八〇一ヲ　○九八一一ヲ　●九八二一ヲ　○九八三一ヲ　●九八四一ヲ　○九八五一ヲ　●九八六一ヲ　○九八七一ヲ　●九八八一ヲ　○九八九一ヲ　●九九〇一ヲ　○九九一一ヲ　●九九二一ヲ　○九九三一ヲ　●九九四一ヲ　○九九五一ヲ　●九九六一ヲ　○九九七一ヲ　●九九八一ヲ　○九九九一ヲ　●一〇〇〇一ヲ

戰跡を調べて

白二二と黒即定石を選んだが、八手をどう考へる場合、黒一九のヘサに、適切でなかつたものと見るべきであらう、矢張り平凡七七に受けて、黒れの二一又は△を許して、黒の白二八を起手とする一つの定石である、此の白二八を省くと黒の意中を行つて意表に出るものにはあるまいか　黒二三以下白一八まで、白二三を起手とする一つの定石である、此の白二八を省くと黒ミが餘りにも絶好な點から眺みる△六又は△二と運ぶ方が却つて黒

△二五とツケて活を圖る手段が成立するのである、此の白十八まで的には却つて有利とされて居るが、これに次く黒十九が攻守兩様に働らいた絶好である點に、白十二の不當な棄石されて居る白二二が像りにも無策で黒三と交換しては、そこに何の妙味もなくなつたここで白十二の三に「ツケて變化を求め、局面重新の方針を見出すべきではなからうか、この白二二の平凡が祟いて、二四の早計を誘ひ一他に適當な妥點も見當らぬため一黒三五、二七の急追を乘り、二八以下ここに狙狼の跡を認めが白二三、二四は常用の挽きではあるが、この際三三にツギ以下黒三七白三八黒九一百一たの三黒一はの三に白七五黒八一百一たの三黒一はの三に白七五黒八一百一たの三黒一はの三に白七五黒八

蔡、分教場士任が 許欺横領を働く

期米に手を出した穴埋に 肥料商や農民を欺く

臺中山岳館の裝飾 飾付け大に進捗

關係者等がきのふ參觀

新竹の招魂祭

十四五兩日各種の催し

臺北音樂會の 內紛漸〳〵解決す

幹事の合議制に改め

潮流に變動を來し 海岸汀に大異變

防砂、耕地保護等のために 植栽の木麻黃流失す

臺博臺南分館水族館上棟式

日本の各種綿製品 比島市場を獨占

自國の產業保護の名の下に 比島では防遏方を攻究

臺南の兩實業團體 陳情問題でもめる

市民はその成行を注視

花蓮港廳の 明年度豫算案

提出は十月上旬か

臺北の內紛 解決

幹事の合議制に改め

臺東街の第一回 模擬選擧

好成績に終る

貨物自動車 水田に顚落

乘者二名重傷

基隆の小火

人妻貨物列車に 刎ねらる

慶運丸機關部員の 紛紜漸く解決

きのふ無事に出港

他人の借金を横領

花蓮港

海山

大溪

湖口

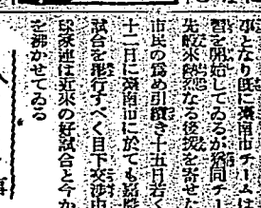
竹東

地方近事

聾啞者機關車に刎ねらる

決して八百長をやつたのでない

新竹競馬の事情につき きのふ服部會長釋明



絶對全責任仕入不向返金品替自由
大販賣 市價の半値
定價一圓の萬年筆五萬本進呈
革靴一足に萬年筆一本ツヽ進呈
名古屋市東區千種町古井坂電停前
合資會社 金城商會販賣部
電話東五一一四(振替名古屋一七六)

整腸殺菌消化

腸疾患治療と豫防に

ビオフェルミン

腸疾患の治療は乳酸菌療法劑で

乳酸菌を應用すれば、(1)腸内に起る腐敗及び有毒なる異常醗酵を防止して腸機能を調整し、(2)有害なる細菌を死滅せしめ、(3)毒素の腸内吸收を阻止しますから……

この乳酸菌療法劑たるビオフェルミンは、從來の種々の治療劑中腸疾患に對し安全無害で副作用なき点に於て、又実効の優秀合理的なる点に於て特に多年醫家によつて、愛用處方されております。

◎腸カタル・下痢の治療に

ビオフェルミン中の乳酸菌は腸内の腐敗を防止して蠕動官能を調整し、腸機能を正常に復せしめるのみならず、異常醗酵を阻止し、有害細菌を死滅せしめて症状の悪化を防ぎよく下痢を消退せしめ一般症状たる腹痛、奚急後重、腹部膨滿、腹鳴、倦怠感等を去つて治癒に導くものである。

本劑は尚ほ糖化菌を含有し、腸内消化を佳良ならしめ、消化不良を治し、榮養分の吸收を良好ならしめ、便通を調整せしめる。

◎乳小兒の消化不良症に

乳小兒の腸疾患は主として腸内の異常醗酵又は腐敗性變化に原因するものなるも、細菌の感染も亦重要なる役割をなすものにして、有害細菌は腸内に繁殖して毒性を現はし、腸内容物を腐敗せしめて、容易に中毒及び食傷を起すものである。

その主な病症である消化不良症即ち發熱、下痢（不消化便、綠便、水樣下痢便、粘液便）、榮養障害、食慾不振に對し、ビオフェルミンは安全無害、副作用を伴はずして、著明なる治療効果を擧げ、腸内を清淨ならしめる。

◎傳染性腸疾患の豫防保健に

ビオフェルミンは、腸内に侵入する各種の危險なる有害細菌を殺滅し、之が發育を阻止するが故に、腸の衰弱・榮養障害・身心過勞より來るべき腸チフス・赤痢・コレラ及び幼兒を襲ふ疫痢、腸炎の豫防ご保健に優秀なる價値を認められる。

―粉末と錠劑―
各地藥店にあり

全國知名病院醫院御採用

發賣元　株式會社　武田長兵衛商店
製造元　株式會社　小西新兵衛商店
　　大阪市東區道修町
　　東京市日本橋區本町
　　神戸市林田區丸山町二番
　　神戸衛生試驗所

37—1063(O)

（可認物便郵種三第）

愈よ本格的になる 本島の便利屋貿易

廈門領事の骨折りて對岸に 共同販賣組合を計畫

日下團員の募集中

「基隆電話」本島と對岸廈門間の便利貿易については長らく種々の問題を惹起し我が領事館當局ではこの點を重要政策の一つとして努力し來りこの程やうやく廈門出張同業組合が結成されたがそれでも未加入便利屋はまだ數多の問題が殘されているのでこれを強化統率せしめる爲め組合を主體とする必要があり知人廈門領事館では過日來の懸案に基づき方針としてその實現に邁進する筈になつてゐるが一方我が領事館當局ではこの程その上對岸には既設の共同販賣組合整理の計畫もありてかくて便利屋貿易は本島特有の發展的貿易も愈々認められ貿易の躍進に乘る諸條件があるから、因みに去る四月末我が廈門領事館と支那當局との間に取り交された協定は左の如きものである

小荷物輸出組合に關する協定

在廈門日本領事館は廈門內務局と在廈日支商人團主廈門小荷物輸出業者の組合に關し左の協定を遂行す

一、組合員の携帶する小荷物は一人に付四箇に限る

一、組合員は組合證發給の證章を第一回携帶者の携帶する小荷物は四才（四立方尺）以內とし各荷物には荷札を附し番號及姓名を明記す

一、組合員携帶荷物四箇の內三箇は基隆出發川船荷扱に入れ廈門海關檢查場に於て關稅其他の一箇は之を船上に於て檢查し關稅十船上關稅荷物價格は廈門海關の所定する定價格に依り計算し一箇に付國幣七十元を超過するを得ず、超過の場合は之を貨物檢查場に於て關稅を徵收す

一、組合員は組合證發給の證章を第一回携帶者の携帶する小荷物輸出業者の組合に關し左の協定を遂行す

一、組合員の携帶する小荷物は一人に付四箇に限る

十六年間臺北市勢
以次進展于郊外
市街盛衰得由地租觀之

去四月十四日。以律令第百十一號。制定昭和十年度地租規則。于來二十五日。照改正規則。徵收第一回地租。此次之改正。于臺北市內之地租。有如何變化。頗深有興味。總額增加二萬三千五百四十七圓四十八錢。其中建物敷地居首位。即二萬二千九百十三圓四十四錢。次位田地四千三百十五圓四十六錢。雜種地二千七百四十六圓五十七錢。宅地二千八百七十七圓十四錢。林地九十八圓。減少者。僅養魚池之二圓三十二錢。然觀其各町別。代十六年間。露出市街盛衰狀態。即此數年間。飛躍的發展之券酒會社附近一帶。地價頗。在舊規則。一躍增加千六分云。

短縮基香間航海
使就航之基厦門
商船力講緩和策

商船會社基隆支店。因鑒對岸之貨物激增。於此次配給貨物船第二十六共同丸。力圖緩和。又科今秋博覽會。觀覽客殺到。力講對策。聞將增現在配船之數。來厦山兩船。短縮基隆香港間時間。以其所短縮期間。使更就航于基隆厦門間。增加回數。使可得觀和貨客之輸載云。

輸出品
稅關將檢查
防止海外壓迫

輸出省令檢查品之稅關取締。商工省與大藏省主稅局方法。乃對重要輸出品省令檢查品。通常。臨時。稍一定手數料。省令檢查。當臨時。同時徵收檢查手數料。但其金額不過輸出價格之數千分之一。當業者之負擔僅少也。

臺東臺博鄉土館
完成時增一美觀
多具考古難得之逸品

臺東臺。以始政四十周年。委員亦皆傾出其總力。又臺灣博覽會。為模機。對巡廻之展覽。為紹介鄉土色彩。建設鄉土館。編纂鄉土史。名勝舊蹟之保存。其他由特產資品。為紹介宣傳。現各等備中云。

嘉義市乘合
十月開業
現募運轉手

嘉義地方振興協會。對嘉積自動車會社乘合。實收經營問題。業已解決。會社定二十日。開株主總會。可知云。

臺北驛前
大電光塔
入札超過豫算

博覽會協贊會。決定在臺北驛前。建設一大廣告電光塔。高二十尺。高百尺。使一覽。下車注目。以十時。開於署前廣場。舉行議式。今川管理者。林田參事。關係職員。及各部部長。並議員七十一名出席。先由今川管理者。致辭開會。伊藤警記報告。參與員及出缺議員敬。與九年度歲出入豫算追加案。乃指名張香林。與水道製圖會社。共積儀三氏。為會議錄。署名人。於是今日。

嘉南圳通常總會
質問後可決原案

嘉南大圳組合第一回通常總會。加既報。以去十朝下午二時二十分。由今川管理者。林田參事。關係職員。及各部部長。並議員七十一名出席。先由今川管理者。致辭開會。伊藤警記報告。參與員及出缺議員敬。與九年度歲出入豫算追加案。乃指名張香林。與水道製圖會社。共積儀三氏。為會議錄。署名人。於是今日。

瀛社觀月
歡迎高孝廉
兼議改組

瀛社中秋觀月會。輪值陳姨知。賴獻瑞。林錫牙。吳成碧。施運斧。劉希淵。諸氏之承辦。因人員不足。並稀代彫刻之槍。刀。劍。類。蕃族文化刺繡彫刻類。

前月臺東廳風雨害
土木復舊冊一萬餘

決定基於災害復舊費請求。督府。該復舊豫算內容如左。一、土木費（點地方費支出）馬蘭知本道路復舊。六萬。二、河川費（點地方費支出）射馬干堤防六百圓。臺東水制二萬圓。呂家溪右岸。萬三萬圓。知本溪右岸。萬七千五百圓。計二萬一千一百圓。二、營繕費（點地方費支出）臺東港道路二萬四千六百七十五圓。臺東水道二千五百五十圓。臺東港道路。二千七百四十圓。臺東馬太鞍道路。二萬八千六百七十五圓。臺東林田。森。長谷場諸參與員。及一一答辯。後陳本監氏。述排水希望設備完全。黃媽典氏起唱替成諸案。均照原案決可。至帝陛下。十一日午前十時三十五分。駕發行在所。同四十分。發哈埠驛。乘御用列車歸京云。

英意兩國不洽
與五國委員會
法首相斡旋

齊府十日電。九日五國委員會。自言和協案作成停頓。結局知其由於英外相之意向。即外相。主張意大利如主張軍事行動自由不容五國委員會所請。理事會。宜作十五條二項至四項之手續。作成前案。頗貢獻強硬。五國委員會不得不開。然法國佛首相則請再寬一日。遂容之。決定十二日再開委員會。此間法國首相最後出代替旋於意大利之間。終使事行動之自制以利益諸之。究此二日間法意折衝。能文配合後。事會動作云。

內田山崎兩相等
乘機籌組新黨
首相藏相等似皆支持

東京十一日電。專任逓相問題所關。圍內（不統一之目。全為疎隔。依然不快政局前途。尚多多難云。

民政黨
表面似諒解
事實不滿

東京十一日電。局政党。結局承認。望月圭介氏後任逓相。表面似納得。裡面頗不滿。即岡田首相。由其可以代床次前逓相。創設新黨之地。推薦望月氏。有無能力。頗屬疑問。又舉國一致之形態。難云維持。然有政友會之大敵在。何處有其實。政府此回所措可謂失敗云。

故床次遞相
葬儀盛大
會葬近萬人

東京十一日電。故床次逓相。去八日薨去。十一日舉行葬式。秋雨適降。似助人哀愁。午前九時。西大久保床次邸。喪主正一氏。以下親族祭官。乘出棺祭。悲子未亡人悲傷中。最後訣別。十一時二十分。靈柩移諸柩車。赴青山齋場。齋場安置生花花環。五百。八百餘。盛前陳列御下賜榊。神饌御榊。而飾以故人寄真。供物山積。午後零時半。喪主正一氏。悲子未亡人以下親族。勢儀委員長岡田首相。副委員長。月主介氏。大久保利武侯。頭山滿翁。以下參列員著席乃莫饌。奏誄祭詞。午後一時。勅使甘露寺侍從。皇后宮御使。永積事務官。皇太后宮御使西村事務官。各宮家御代拜。喪主以下謹拜式畢。同二時。移告別式。西園寺公代理。各省大臣。次官。政務官。近衛。溝田樞院議長。鈴木政友會總裁。若槻憲次郎男。安達國民同盟總裁。以下兩院議員。陸海軍。各將星。深井日銀總裁。以下財界巨頭。橫山東京府知事。牛塚東京市長。小栗貞親總監。其他各方面名士。顯官。在京外交團。鹿兒島縣人等會葬者近萬人。良所罕見出殯。午後三時。發青山齋場。葬儀委員長。岡田首相。高橋藏相。歷次支持。他方民政黨。表面則歸京任逓相。而等新黨組織。以觀床次氏之動靜。岡田首相。高橋藏相。歷次支持。他方民政黨。表面承服。其面則歸京任逓相。而等新黨組織。以觀床次氏之動靜。

望月圭介氏
訪高橋藏相
回答內諾

東京十一日電。十日夜。高橋藏相。訪望月圭介氏為辱任逓相入閣。已懇慮結果。決意承諾。十一日午後三時半。訪藏相於私邸。而答內諾。藏相將俯傳之首相。首相更招之。正式交涉。得其承諾。十二日內奏。準行親任式云。

黃邨內政部長
不肯就任
提出辭表

南京十日電。黃邨氏。鑑任內政部長。不肯就任。十日對國民政府。正式提出辭表去云。

滿洲國皇帝
駕發哈埠歸京

哈埠十一日電。滿洲國皇帝陛下。今日午前九時。駕發哈埠。歸京。

臺博協贊會
小南門土地
降下料金

臺博協贊會贊店部。許可

後拖車顚覆
乘客折腕

基隆市役所撒水自動車七。午前八時五十分。運轉手李重。向入船町方面。至舊水產會社前。忽前方。有寶町四番地周次德。年五十三。乘後拖自轉車。南隆醫院治療云。

不良少年七名行竊
被北署刑事捕去

各會場附屬賣店百一件。土地貸付二十三件。計百二十四件。然興行物等。須要處分。大敗地。因土地使用料過貴。雖于和盤。故中止計。乘者甚多。為是賣店部。前番對土地使用料斷行降價。今回復對第一會場體樂館東南。即小南門附近。至車司令部正門三線道路邊一帶敷地。決定減折如左。五十坪未滿者。每坪二圓。百坪未滿者。每坪一圓五十錢。百坪以上者。每坪一圓。又前記土地甚廣。不論大小興行。皆可使用云。

鹿港
禁買同盟
開姿別會

鹿港街酒類仲買所。為者發燈酒類人按票關係。對路少發店。五酒路買高砂麥酒。以外路發酒。惟據張商砂麥酒是認。致一般被酒飲好者。大起不平。現依組織高砂麥酒禁買同盟會。與之抵抗云。

彰市保護日
記念行事

彰化市十三日釋放者保護日。記念行事。決定如左。

一、釋放者保護官傳。
甲、活動寫眞無料公開。
彰化公園。
期日　十三日午後七時。
乙、講演會。
期日　十三日午後五時半。
丙、對取事件說明。各幹事。
丁、講演會　宍戶敎諭師。
四、路頭宣傳。
甲、十三日午後四時全員。集于街廨舍。即駕乘一動車數臺。巡繞市內。
五、揚示宣傳。
甲、鐵道線路。各立看板。以示民衆。
乙、市內出所。分八箇所。各樹立看板。
丙、印刷關表及宣傳單五千枚也。

彰化混淆
信用組合宣隨大勢
降下貯金貸付利息
財務局近將發通達

島內各銀行預金降利。而各地信用組合。且下皆乡擁避金。難於消化。頗受銀行降利刺激。貯金利息降下機運濃厚。財務局近日中將通達全島信組。使共頗應時世。凡貯金及貸付。務必降下。臺北州市勸業當局。於十日午後七時。假臺北信組樓上。招募代表者。而協議。蒸市內組合。利率高低不一。金融全無統制。

荻洲參謀長
新任披露

荻洲參謀長。十日午後六時。招待平塚長官。酒井軍司令官。各部局長。酒井軍司令官。而勇氣帝大總長。野口州知事。松岡市尹。堀內鄉事長。原東京府知事。牛塚東京市長。小栗貞親總監。其他各方面名士。顯官。在京外交團。鹿兒島縣人等會葬者近萬人。良所罕見出殯。午後三時。發青山齋場。葬儀委員長。岡田首相。高橋藏相。歷次支持。他方民政黨。表面則歸京任逓。而等新黨組織。以觀床次氏之動靜。

內田山崎兩相等
乘機籌組新黨
首相藏相等似皆支持

東京十一日電。專任逓相問題所關。圍內（不統一之目。全為疎隔。依然不快政局前途。尚多多難云。

民政黨
表面似諒解
事實不滿

東京十一日電。局政党。結局承認。望月圭介氏後任逓相。表面似納得。裡面頗不滿。即岡田首相。由其可以代床次前逓相。創設新黨之地。推薦望月氏。有無能力。頗屬疑問。又舉國一致之形態。難云維持。然有政友會之大敵在。何處有其實。政府此回所措可

故床次遞相
葬儀盛大
會葬近萬人

東京十一日電。故床次逓相。去八日薨去。十一日舉行葬式。秋雨適降。似助人哀愁。午前九時。西大久保床次邸。喪主正一氏。以下親族祭官。乘出棺祭。悲子未亡人悲傷中。最後訣別。十一時二十分。發柩移諸柩車。赴青山齋場。齋場安置生花花環。五百。八百餘。盛前陳列御下賜榊。神饌御榊。而飾以故人寄真。供物山積。午後零時半。喪主正一氏。以下親族祭官。乘出棺祭。悲子未亡人悲傷中。最後訣別。十一時二十分。發柩移諸柩車。赴青山齋場。齋場安置生花花環。五百。八百餘。盛前陳列御下賜榊。神饌御榊。而飾以故人寄真。供物山積。午後零時半。喪主正一氏。以下親族祭官。乘出棺祭。悲子未亡人悲傷中。最後訣別。十一時二十分。發柩移諸柩車。赴青山齋場。齋場安置生花花環。五百。八百餘。盛前陳列御下賜榊。神饌御榊。而飾以故人寄真。供物山積。午後零時半。喪主正一氏。以下親族祭官。乘

明治女兒標煉乳
標添附景品發售！

內標紙所記載
全額、在店舖即
時可換、景品內
容豐富且佳、
務祈買上是幸

母乳代用　內外第一
品質優良　價格低廉

明治製菓株式會社